

平成28年度  
県人会担い手育成招へい事業  
報告書

期間：平成28年7月8日(金)～19日(火)

主催：海外県人会人材育成・活用推進事業  
実行委員会

# 目次

・ごあいさつ	1
・平成28年度事業について	2
・概要	3
・参加者名簿	4
・全体プログラム日程	6
・プログラム内容	7
・参加者等の感想	12
・事業の総評	13
・参加者レポート／子弟	14
・参加者レポート／引率者	24
・参加者レポート／福岡県移住者子弟留学生	30
・福岡県の海外県人会について	35
・実施要綱	36

# ごあいさつ

福岡県から海外に移住した方々とその子孫などで組織する「海外福岡県人会」は、世界9カ国、21カ所で設立されています。

本県からの海外への移住は、1885年に149人の方々がハワイへ移住されたことに始まります。移住された方々は、言葉はもとより気候や風土、文化など全く異なる環境の中で大変なご苦勞をされながらも、幅広い分野で活躍され、移住された国の発展に大きく貢献してこられました。

本県が海外と交流する上で、県人会は、本県と移住国との交流の懸け橋として大変貴重な財産です。

一方、移住から長い年月が経過し、県人会では、日本語や日本文化を知らない世代が増えています。県人会のさらなる発展、本県と移住国との交流促進のためには、次代を担う若い世代の人たちに、日本のこと、そして自らのルーツがある福岡県のことを知っていただくことが大変重要であると考えています。

そこで本県では、平成20年度から、県人会の子どもたちを招へいし、日本文化の体験や同年代の子どもたちとの交流を通じて、福岡に対する興味・関心を育み、帰国後の県人会活動参加への動機づけを図ることを目的として、「県人会担い手育成招へい事業」を行っています。

今回は、8カ国13県人会から、子弟19人、引率者10人の皆さんに参加いただきました。参加した子どもたちが、福岡や日本に対する興味や愛着を深め、帰国後も参加した子ども同士の交流が続いているという話を聞き、大変うれしく思っています。

昨年10月には、メキシコで開催された第9回海外福岡県人会世界大会「青年の集い」において、若い世代の人たちに、今後の県人会活動のあり方について議論いただきました。本事業に参加した子どもたちも、将来、県人会活動の中核的存在として活躍されることを大いに期待しています。

本事業の実施に当たり、ご協力いただきました皆さまに深く感謝を申し上げますとともに、今後の県人会活動を担う若い世代の育成に引き続きご尽力いただきますようお願いいたします。



福岡県知事 小川 洋

# 平成28年度事業について

平成28年度県人会担い手育成招へい事業には、7月に、8カ国13県人会から29名の皆さんが参加されました。

この子弟招へい事業は、今年で9年目を迎え、これまでに152名、引率者を併せると228名の県人会の方々に参加していただきました。

参加者の皆さんは、宗像大社や小倉城の見学、山笠見学、浴衣着付体験、茶道や和太鼓体験など様々な日本文化を体験したほか、那珂小学校では、羽子板やけん玉など日本の昔遊びを体験したり、英語交流などの授業に参加するなど、同世代の子どもたちと一緒に日本の小学校生活を体験することができました。また、親戚宅にホームステイをした子どもたちは、親戚との交流を深めるとともに、自分たちのルーツである福岡について学ぶことができました。

このプログラムを通して、日本の文化、生活、習慣に触れ、また福岡の魅力を肌で感じたことで、以前にも増して福岡県に対する興味が深まったものと確信しております。各県人会からの参加者と2週間をともに過ごす中で、多くの友達もできたことでしょう。そして、これを契機に、参加者の皆さんが、もっと日本語や日本文化を勉強したい、もう一度福岡に来たいという思いを強くしてくれることを願っております。

また、本事業で得た経験やネットワークを生かし、参加者の皆さんが、将来母国の県人会で中心的存在となり、日本・福岡県との更なる友好親善のために活躍していただくことを心から期待しております。本実行委員会としても、こうした活動を支援して参りたいと考えております。

最後に本事業の実施にあたり、ご協力いただきました海外福岡県人会、福岡県移住者子弟留学生、ホストファミリーの皆様、並びに那珂小学校をはじめとする受入いただいた関係機関に心から御礼申し上げますとともに、この事業の今後更なる発展にご支援いただきますようお願いいたします。

平成29年3月

海外県人会人材育成・活用推進事業実行委員会  
実行委員長 田中 俊太  
((公財)福岡県国際交流センター 専務理事)

# 概 要

## 1 目 的

海外福岡県人会会員の子弟を福岡県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図ることを目的としています。

## 2 期 間：平成28年7月8日（金）～19日（火）

## 3 招へい者人数：8カ国29名【内 訳】子弟19名、引率者10名

国 名	子弟者数	引率者数
ブラジル連邦共和国	5	2
パラグアイ	1	1
アルゼンチン共和国	1	1
ボリビア多民族国	1	1
コロンビア共和国	1	1
ペルー共和国	2	1
メキシコ共和国	2	1
アメリカ合衆国	6	2
合 計	19	10

## 4 内 容

### (1) 同年代の子どもたちとの交流

那珂小学校、宗像市小学生との交流キャンプ、竹下太鼓グループとの交流、

### (2) 福岡の魅力に触れる

福岡市内視察（博多祇園山笠見学、福岡市民防災センター）、トヨタ自動車九州工場見学、北九州市内視察（小倉城見学）、宗像大社見学等

### (3) ルーツを探る

親戚宅、知人宅、家族会会員、ボランティア宅へのホームステイ

### (4) 日本文化の体験

茶道、和太鼓、浴衣着付け、手巻き寿司作り等

## 5 主 催

「海外県人会人材育成・活用推進事業実行委員会」

構成団体：福岡県企画・地域振興部国際局、福岡県商工部新事業支援課、福岡県教育庁教育振興部義務教育課、(独法)国際協力機構九州国際センター、(独法)日本貿易振興機構福岡情報センター、福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課

事務局：(公財)福岡県国際交流センター

共 催：宗像市

後 援：(財)サニックススポーツ振興財団

# 参加者名簿

【参加者】 8カ国13県人会から子弟19名、引率者10名が参加しました。

No.	県人会名	引率 子弟	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	子弟	井手 向高 ニコレ	女	ブラジル
2			福島 アンドラデ ファビオ	男	
3			小西 愛理 エミリ	女	
4		引率	行徳 ミリア 小百合	女	
5	ベレン福岡県人会	子弟	近藤 佐藤 カミラ 未季	女	ブラジル
6	トメアスー福岡県人会	子弟	稲田 ガブリエル 純一郎	男	
7		引率	加藤 大行 アンドレ	男	
8	パラグアイ福岡県人会	子弟	淵脇 省吾	男	パラグアイ
9		引率	橋本 リナ	女	
10	アルゼンチン福岡県人会	子弟	ドナヘイル クララ	女	アルゼンチン
11		引率	津留 アナ	女	
12	在ボリビア福岡県人会	子弟	八田 茂人	男	ボリビア
13		引率	川波 直美	女	
14	コロンビア福岡県人会	子弟	田中 陽一	男	コロンビア
15		引率	徳永 アントニオ 明	男	
16	ペルー福岡クラブ	子弟	植山 古賀 ケンタロウ ファビアン	男	ペルー
17		子弟	靱井 仲間 テツオ ガブリエル アロンソ	男	
18		引率	アギラル 大津 ロシオ スサナ	女	
19	メキシコ福岡県人会	子弟	林田 男	男	メキシコ
20			林田 海	男	
21		引率	フローレス ルナ マリア グアダルーペ	女	
22	南加福岡県人会	子弟	スミス シェラ ヨシミ	女	アメリカ
23			長谷川 翔太	男	
24		引率	金川 龍介	男	
25	ハワイ福岡県人会	子弟	ハヤシ ニッコロ	男	
26			ステーブルズ コール	男	
27		引率	ハヤシ ブランドン ジロー	男	
28	ハワイ島福岡県人会	子弟	箱田 スコット	男	アメリカ
29	コナ福岡県人会	子弟	おなか ジェード	女	

## 【福岡県移住者子弟留学生】

No.	県人会名	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	中村 クリスチアネ 小百合	女	ブラジル
2		浅野 レナン ゆうじ	男	
3		清水 愛実 サラ	女	
4		池尻 直美 カレン	女	
5	パラグアイ福岡県人会	山崎 亜希	女	パラグアイ
6	ペルー福岡クラブ	松藤 福田 カルロス アウグスト	男	ペルー
7	在ボリビア福岡県人会	八田 生香	女	ボリビア

「福岡県移住者子弟留学生とは」・・・専門の知識と、日本、そして福岡県についての理解を深めるために、福岡県内の大学に1年間留学している海外福岡県人会の子弟。

## 【活動グループ】

参加者と福岡県移住者子弟留学生で6つの活動グループを作り、プログラムに臨みました。

Aグループ	子弟：井手 向高 ニコレ 福島 アンドラデ ファビオ 小西 愛理 エミリ 近藤 佐藤 カミラ 未季 稲田 ガブリエル 純一郎	引率者：行徳 ミリア 小百合 加藤 大行 アンドレ 留学生：浅野 レナン ゆうじ
Bグループ	子弟：スミス シエラ ヨシミ 長谷川 翔太	引率者：金川 龍介 留学生：池尻 直美 カレン
Cグループ	子弟：ハヤシ ニッコロ ステーブルズ コール 箱田 スコット おなか ジェード	引率者：ハヤシ ブランドン ジロー 留学生：清水 愛実 サラ
Dグループ	子弟：湊脇 省吾 植山 古賀 ケンタロウ ファビアン 榎井 仲間 テツオ ガブリエル アロンソ	引率者：橋本 リナ アギラル 大津 ロシオ スサナ 留学生：山崎 亜希 松藤 福田 カルロス アウグスト
Eグループ	子弟：ドナヘイル クララ 林田 男 林田 海	引率者：津留 アナ フォーレス 村 マリア グアダルペ 留学生：中村 クリスチアネ 小百合
Fグループ	子弟：八田 茂人 田中 陽一	引率者：川波 直美 徳永 アントニオ 明 留学生：八田 生香

# 全体プログラム日程

期 日	時 間	内 容	宿泊場所
7 / 8 (金)	終日	入国	グローバルアリーナ
9 (土)	午 前	オリエンテーション	グローバルアリーナ
	昼	歓迎会	
	午 後	小学校での出し物準備 宗像大社見学	
10 (日)	終 日	宗像市小学生との交流キャンプ	グローバルアリーナ
11 (月)	午 前	いのちのたび博物館見学	グローバルアリーナ
	午 後	小倉城・リバーウォーク等見学	
	夜	高塔山展望台夜景見学	
12 (火)	終 日	那珂小学校との交流	グローバルアリーナ
		茶道体験	
		和太鼓グループとの交流	
13 (水)	午 前	勾玉作り体験	グローバルアリーナ
	午 後	トヨタ自動車九州工場見学	
		浴衣着付体験	
14 (木)	午 前	副知事・議長表敬	グローバルアリーナ
	午 後	福岡市民防災センター・博多祇園山笠 見学等	
15 (金)	午 前	手巻き寿司作り体験	ホームステイ
	午 後	県少年科学館・鳥類センター見学	
		ホストファミリーとの対面式	
16 (土)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
17 (日)	終 日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
18 (月・祝)	午 後	送別会	グローバルアリーナ
		引率者会議	
19 (火)	終日	出 国	



# プログラム内容

平成28年7月8日(金)～19日(火)

第1日目	8日 (金)	<p>◎入国</p> <p>8カ国(ブラジル・ボリビア・パラグアイ・コロンビア・メキシコ・ペルー・アルゼンチン・アメリカ)から子弟19名、引率者10名が来福しました!</p>
第2日目	9日 (土)	<p>◎午前：オリエンテーション</p> <p>主催者歓迎のあいさつ、スタッフ紹介の後、プログラムの趣旨や参加の心得、スケジュールの説明に加えて、参加者が自己紹介をしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>歓迎の挨拶</span> <span>自己紹介</span> </div>
		<p>◎昼：歓迎会</p> <p>グローバルアリーナ内レストラン「GA倶楽部」にて、歓迎会を行いました。来賓の福岡県海外移住家族会の方々など総勢50名が出席しました。子弟・引率の自己紹介の後、事務局長からお土産の博多織三角財布の贈呈を行いました。</p>
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
		<p>◎午後：那珂小学校交流の準備</p> <p>7月12日(火)に訪問する那珂小学校での発表準備をしました。歌やダンスの練習、持参した絵や写真を模造紙に貼り発表の為の準備を完成させました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>グループE(アルゼンチン)</span> <span>ダンスの練習(ハワイ)</span> <span>グループA(ブラジル)</span> </div>
<p>◎午後：宗像大社見学</p> <p>宗像市が募集した小学生ボランティアに、宗像大社内を案内してもらいました。宗像市の小学生と県人会の子弟とがグループになり、境内を散策しながら、英語を使用してクイズ形式での交流を楽しみました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		

<p>第3日目</p>	<p>10日 (日)</p>	<p>◎終日：宗像市小学生との交流キャンプ</p> <p>宗像市内に住む国際交流に興味のある小学生19名と、グローバルアリーナでデイキャンプを行いました。県人会の子弟と宗像市の小学生がグループになり、竹鉄砲やそうめん流し、おにぎりを作ったりしながら交流をはかりました。午後は体育館に移動し、「クバーラ」というマダガスカルのゲームをし、ました。</p>  <p>子弟代表挨拶</p>  <p>竹鉄砲作り</p>   <p>そうめん流し</p>  <p>クバーラ</p>
<p>第4日目</p>	<p>11日 (月)</p>	<p>◎午前：いのちのたび博物館見学</p> <p>北九州地区家族会の方達のサポートのもと、グループごとに自由に館内を見学しました。イヤホンガイドで説明を聞きながら、実物大の恐竜の化石や展示を見て回りました。</p>    <p>◎午後：北九州市内見学、夜：高塔山夜景見学</p> <p>小倉城を見学後、リバーウォークで自由時間をとり、それぞれが買い物を楽しみました。夜は、高塔山の夜景見学に行きました。当日はあいにくの雨でしたが、若戸大橋、洞海湾、響灘、皿倉山、戸畑・小倉の市街が目の前に広がっており、抜群の夜景を楽しむことができました。</p>  <p>小倉城</p>   <p>高塔山夜景</p>
<p>第5日目</p>	<p>12日 (火)</p>	<p>◎終日：那珂小学校との交流</p> <p>体育館にてお迎えの式をしてもらった後、各学年と教室での交流を行いました。羽子板やけん玉など日本の昔遊びを楽しんだり、給食を一緒に食べました。午後の交流では、各県人会で準備してきた出し物の発表をしました。学校交流の後は、茶道体験・竹下太鼓グループとの交流を行いました。</p>  <p>各県人会からの発表</p>  <p>各県人会からの発表</p>  <p>各県人会からの発表</p>

<p>第5日目</p>	<p>12日 (火)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">給食                      茶道体験                      フラダンス</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="text-align: center;">竹下太鼓グループとの交流</p>
<p>第6日目</p>	<p>13日 (水)</p>	<p>◎午前：勾玉作り体験</p> <p>グローバルアリーナの宿泊棟内のミーティングルームにて勾玉作り体験を行いました。宗像市子ども育成課の方に指導して頂き、子弟達は個性溢れる勾玉を作りました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>◎午後：トヨタ自動車九州工場見学</p> <p>工場内をバスで見学した後、組み立て工場の中を徒歩で見学しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>◎夕方：浴衣着付け体験</p> <p>宗像市子ども育成課の方のサポートのもと、浴衣着付け体験を行いました。宗像市のボランティア小学生10名程も参加し、県人会の子弟に浴衣の着付けをしてくれました。浴衣着付け以外にも、習字や日本の伝統的な遊びであるケン玉や折り紙などの体験もしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>

<p>第7日目</p>	<p>14日 (木)</p> <p>◎午前：副知事・議長表敬</p> <p>副知事・議長表敬ではメキシコ県人会の引率者が代表挨拶をし、メキシコで開催される世界大会の紹介もありました。議長表敬の後は、議場見学もしました。</p>    <p>◎午後：福岡市民防災センター、博多祇園山笠見学等</p> <p>福岡地区家族会の方達も一緒に、福岡市民防災センターにて消火体験や地震体験、強風体験をしました。上川端商店街に移動し、飾り山を全員で見学しました。その後はキャナルシティで自由時間とし、グループごとに買い物を楽しみました。</p>   
<p>第8日目</p>	<p>15日 (金)</p> <p>◎午前：手巻き寿司作り体験</p> <p>J A みい北野中央支店内の調理室や会議室を貸して頂き、手巻き寿司作りをしました。講師から日本の食文化の歴史や手巻き寿司についての知識をレクチャーしてもらった後、実際に手巻き寿司やいなり作りに挑戦しました。</p>    <p>◎午後：青少年科学館、鳥類センター見学</p> <p>両筑地域家族会の方達と一緒に、青少年科学館と隣接する鳥類センターの見学をしました。青少年科学館では、ゲーム形式で楽しめる展示やロボットなどが多数あり、楽しみながら科学について学ぶことができました。</p>    <p>◎夕方：ホストファミリー対面式</p>   

第9日目	16日 (土)	◎終日：ホストファミリーとの交流
第10日目	17日 (日)	◎終日：ホストファミリーとの交流
第11日目	18日 (月・祝)	<p>◎昼：送別会</p> <p>ホストファミリー、家族会役員の方々等82名が参加し、送別会を行いました。ホストファミリーとの最後の時間を楽しみました。</p> 
第12日目	19日 (火)	<p>◎帰国</p> <p>12日間のプログラムを終えて、全員無事に帰国しました。</p> 

# 参加者等の感想

## ●子どもたちからの感想

- ・日本語の勉強をもっとがんばって、またいつか留学生として福岡県に行きたいです。
- ・家族と離れて自立することを学びました。
- ・ぼくも大きくなったら県費留学生になって子どもたちの手伝いをしたいと思った。
- ・場所が違えば、やり方も違うということを学びました。
- ・プログラムに参加したことで、新しいことにチャレンジすることに不安を感じなくなり、そこから新しいことがたくさん学べることがわかりました。
- ・私は多くのものを学んだだけでなく、あらゆることに感謝するようになりました。
- ・学校で生徒たちが自分で掃除をしていることに衝撃を受けました。
- ・尊敬、時間を守ることやいつもきれいにしていることなどを学びました。
- ・争いがなく、すばらしい食べ物や高度な技術があり、そして何より平和です。

## ●保護者からの感想（帰国した子どもの様子から）

- ・他国の同世代の子どもたちとの交流で、日本や世界の知識を増やし大きく成長したように思います。
- ・とても自立心が芽生えました。
- ・とても成長し責任感を持つようになりました。
- ・言動に責任を持つようになり、理論的に話し合いができるようになりました。
- ・この素晴らしい事業を通じて、未来の県人会のリーダーが育つこと、また世界中に福岡の良さを知る人が増えることそして、息子がその一人に慣れれば本望です。
- ・これまでたくさんの野菜が嫌いでしたが、すべて食べられるようになったと言っていました。
- ・とても礼儀正しくなり、びっくりしています。

## ●引率者からの感想

- ・子供たちがもっと自分の家族の歴史や母国以外の親戚のことを知ることはとても大切。
- ・かなり大変ではありましたが、子供たちが色々な体験をしていく中、友達を作ったり新しい経験による感動を見つけたりしているのを見ていて、また僕もそういう感動やワクワクを見つけていきたいなと思いました。
- ・言葉は大事ですが、一番大切なのは言葉をどう相手に伝えるかだこの研修で思いました。
- ・世代が進むにつれ、祖父母から受け継いだ価値観は失われつつありますが、この旅では、それらが最も大切な遺産であることを再認識することができました。
- ・子どもたちは、単に新しい場所を訪れるだけでなく、日本食を味わい、言葉や文化に触れるといったここでの体験により、物事の見方が変わることでしょう。

# 事業の総評

この事業は、参加した子どもたちが、「①同年代の子どもたちと交流する ②福岡の魅力に触れる ③ルーツを探る ④日本文化を体験する」等を経験することで、福岡・日本に対する興味・理解を深め、将来は県人会活動を推進するリーダーに育ってもらうことを目的としている。

今年度は、8カ国13県人会から29名が参加した。期間中には、那珂小学校において日本の昔遊びや、各国の歌やダンスの披露など交流の時間を設けた。6年生のクラスでは、英語を使ってのゲームや交流を行った。また、宗像市の小学生との交流では、竹鉄砲作りやそうめん流し、おにぎり作りなどを行い、同年代との文化交流を存分に楽しんでいる様子であった。体育館で「クバーラ」というマダガスカルのゲームをした際は、J O C A（青年海外協力協会）のスタッフの指導のもと、ポルトガル語・スペイン語・英語・日本語といった母国語で分けたグループで行ったが、ゲームをやるうえでは言葉の壁は関係ないようで、お互い大いに楽しんでいた。

ホームステイに関しては、3泊4日とした。親戚や知人宅で十分に楽しめる時間を持って、良かったという声が多かった。初めて親戚に会う参加者もあり、自分のルーツを再確認できたようだ。

引率者会議では、子どもたちのグループ分けについて、あえて言語ごとにしなくてもよいのではないかとの意見が出された。子どもたちは、言葉の壁を乗り越えてお互い仲良くなっているのに、毎回、同じグループごとに行動するため、無理やり引き離すような結果になっていた事も多く、今後、検討してほしいとの意見が出された。

その一方で、今回も、本事業に参加する子どもの日本語能力が低く、日本語が理解できないため、小学校交流や視察先でも周りのサポートなしでは交流ができないとの意見も出された。参加する子どもたちの保護者に、改めて本事業の目的を説明し、理解してもらったうえで参加させるようにすべきであり、出発前の事前学習なども含め、各々の県人会での取り組みが大切だと思われる。

本プログラムは、各県人会から福岡県に1年間留学している福岡県移住者子弟留学生にとっても、日本の文化や習慣を知る上で有意義なものとなっており、子どもたちのお兄さん、お姉さんとして、身の回りの世話や言葉のサポートをすることで、子どもたちの大きな支えになっている。今年は4カ国4県人会から7名の留学生が来ており、参加者をサポートしてくれた。子どもたちにとっても、留学生と触れ合えたことは、貴重な体験で、日本語をもっと勉強して、将来留学生として福岡県に戻ってきたいという夢を持って帰国した子どもたちも多くいた。

# 参加者レポート 子弟



Aグループ



ブラジル福岡県人会

井手 向高 ニコレ  
Ide Mokotaka Nicole

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私たちと知り合いになってくれてありがとうございました。北九州の自然史博物館にあった乗り物を特に楽しみました。他にも学校訪問、浴衣の着付け体験、ホームステイ。道路が良く維持され、地面にはごみが落ちていませんでした。

～親御さんからのメッセージ～

ホームステイのご家庭では娘をととても歓迎して頂きありがとうございます。娘は、日本の食べ物や乗り物が好きになったようです。娘はこの体験を決して忘れないことでしょう。ありがとうございました。

Aグループ



ブラジル福岡県人会

福島 アンドラデ ファビオ  
Fukushima Andrade Fabio

「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本はこんなに遠いと思いませんでした。福岡県の子弟招へい事業に参加できてとても良かったです。行く前に、「このプログラムは、長いな。父母がいなくて寂しくなる。」と思いましたが、色々な日本文化や日本人の礼節や日本の食べ物等を体験することができました。日本の朝ごはんでお米を食べることに驚きました。日本で会った皆さんの歓迎は、温かくてとても感謝しています。副知事も会うことができ、本当に忘れられない経験です。「日本語を話せず、何もわからない」緊張で、時々ブラジルに戻りたいと思いましたが、グループリーダーのサユリさんが、いつもポルトガル語で話してくれたので、苦しさが減りました。ドームは人が多かったです！とても面白かったです。えびの天ぷらは日本一と思います。この夏休みは、僕にとって挑戦でした。日本語の勉強を始めたいです。今度また日本へ行ったら、日本人と会話ができるようにがんばります。どうもありがとうございます。

～親御さんからのメッセージ～

福岡県の子弟招へい事業は、文化交流のために非常に重要です。ファビオは帰国後、より責任感が強くなりました。まだ日本語を話せませんので、日本語を勉強することに関心を持って帰ってきました。ファビオは、再び日本へ行きたいと言いましたので、私は、家族と一緒に近いうちに日本へ行く計画を立てています。福岡県国際交流センターとブラジルサンパウロ県人会の皆様大変お世話になっております。今後、多くの方がこの機会を得られるように県人会活動に力を入れたいとおもいます。

Aグループ



ブラジル福岡県人会

小西 愛理 エミリ  
Konishi Airi Emily

「プログラムで得たこと・学んだこと」

家族なしで一人で旅行したり、世界中からの人々に会う経験をしました。先輩にいつまでも頼らず、また自力で日本へ行くために勉強にはげみます。日本の学校は、整理整頓がよくできて、生徒達の責任が強いと思いました。日本はとてもきれいです。私は、このプログラムですべてを楽しみました。私の最高の経験でした。

～親御さんからのメッセージ～

福岡県の皆様、ありがとうございました。おかげさまで、愛理は楽しい思い出がたくさんできました。娘は、珍しい経験をし、たくさんの人とふれあい、忘れられない日々を過ごしました。このような得難い体験をできたことを心から感謝しております。

Aグループ



ブラジル福岡県人会

近藤 佐藤 カミラ 未季  
Kondo Sato Camila Miki

「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムを通じて、新しい友だちを作り、少し日本語を学び、また多くの責任をとり、自分の身の回りのことをすることを学びました。また、私は日本文化や日本の子供たちの行動について少し学び、交流しました。そして、祖父母が生まれた場所を知りました。

私にとって、これは忘れられない経験でした。福岡県の皆さんたちに大変お世話になりました。皆さんにとっても感謝しています。

～親御さんからのメッセージ～

子供については、家庭では大きな変化はありませんでしたが、少し変わりました。たとえば、もっと自立的になりました。

Aグループ



ブラジル福岡県人会

稲田 ガブリエル 純一郎  
Gabriel Junichiro Soares Inada

「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムで、いろいろな初めての貴重な体験をすることができました。

ブラジルとは違うことを、多く学ぶことができました。ぼくの住むブラジルのトメアスーにはない自動販売機で買ったジュースは格別においしかったです。初日は時差でねむくて大変でしたが、日が経つにつれてだんだんと慣れていきました。

プログラムの中で、竹で作った水てっぽうで競争をして二位になったこと、茶道の体験で飲んだ初めてのお茶の味、防災センターでの地震や台風体験、小学校での子どもたちとの交流が印象に残っています。ぼくは、野菜が入った料理が苦手ですが、日本で野菜がたっぷり入ったお好み焼きを食べて「おいしい」と思いました。野菜が入った料理を「おいしい」と思ったことがほとんどなかったので、自分でもビックリしました。

ホームステイ先では、日本語でうまく話せないことも多くありましたが、親戚の九才の男の子と、ボール遊びやゲームを通して、楽しく遊べて仲良くなることができました。また、たくさんのおいしい料理を作ってくれました。ありがとうございました。 他国から参加した子どもたちとも友だちになれてよかったです。僕と同じ名前「ガブリエル」だったことをきっかけに、初日から仲良しになったペルーのガブリエルくんとは、今もインターネットを通じて連絡をとっています。


2週間のプログラムは、あっという間に過ぎてしまいました。日本語の勉強をもっとがんばって、またいつか留学生として福岡県に行きたいです。

～親御さんからのメッセージ～

県人会からこの事業のお話を聞いた時、私たちは「是非、お願いします。希望させてください。」と言ったものの、初めての日本に当の本人が直前で怖がったり嫌がったりするのでは・・・と不安もありましたが、事前にいただいたスケジュールなどでイメージがわいたのか、楽しそうな様子で出発してくれました。

帰ってきてからは、想像以上の日本の様子に、普段はあまり感情を表さない子なのですが、興奮した様子でいろいろと話をしてくれました。他国の同世代の子どもたちとの交流で、日本や世界の知識を増やし大きく成長したように思います。ありがとうございました。

Bグループ

	<p>南加福岡県人会</p>	<p>スミス シェラ ヨシミ Smith Sierra Yoshimi</p>
---	----------------	---


「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、家族と離れて自立することを学びました。また、とても親切に世話してくれたホストファミリーと過ごす機会があり、滞在中2人の友達ができ、感謝しています。私たちは皆で小学校見学に行き、楽しかったです。その他に、お金の管理や日本円での支払いができるようになりました。この滞在中、日本での生活を知ることができました。

～親御さんからのメッセージ～

この旅は、シェラにとって素晴らしい経験となりました。旅行前、私たちは、娘が一人で旅にでることに少し緊張していることに気づきました。旅行後、娘はとても自立心が芽生えました。一人で飛行機に乗り、ワシントンまで旅行しました。シェラは、とても成長し責任感を持つようになりました。娘は、多くの素晴らしい人々に会い、たくさんの新しい友だちを作り喜んでいました。私たちは、娘の良い変化を見ることができ、嬉しく思います。

Bグループ

	<p>南加福岡県人会</p>	<p>長谷川 翔太 Hasegawa Shota</p>
--	----------------	----------------------------------

「プログラムで得たこと・学んだこと」

旅行の説明会で「たいへんそうだなあ」と思ったけど、行ってみたら楽しかった。一番すごかったのは副知事に会えたこと。えらくてりっぱな感じだった。みんなが自己紹介した時にTVの取材がきたのもおもしろかった。博物館に行ったのもすごく楽しかった。ぼくは恐竜の名前をたくさん知っていたので、よけいにおもしろかった。科学館もすごかった。自転車をこいだ力で風船が空中に浮くのがおもしろかった。トヨタの工場へ行って、車を作っている人やロボットがいっぱいあったのがすごかった。そこで車に乗せてもらった。レクサスにのってエンジンのスイッチやワイパーやライトもつけて本当に運転する大人になれたみたいだった。自動販売機でアイスが売っていて、友達になったCole, Nicolo, Scottと買ったのもすごく楽しい経験だった。アメリカにもアイスの自動販売機があったらいいのになと思った。ぼくは見ることがない。

県費留学生のみんながいろんな世話をしてくれてうれしかった。ぼくも大きくなったら県費留学生になって子どもたちの手伝いをしたいと思った。だけど、随行のりゅうすけさんの言う事をきかなかったり、送別会の時に話をきかずに怒られたり、おじいちゃんにも帰ってからいろいろ怒られた。

怒られたら、素直にごめんなさいを言うのがむずかしい。すぐに「だって、、、」と、思ってしまう。

これからは素直に人のはなしがきけるようにがんばりたいと思います。そして、県人会でずっと手伝いしたいと思います。県のお金で旅行に連れて行ってもらえて、ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

旅行直前は不安や緊張もあったようでしたが、言動に責任を持つようになり、理論的に話し合いができるようになりました。この旅行を境に子ども扱いをやめ、一人の青年として接するに値する分別が付いてきたようです。そして、県費留学生の方々の手厚いお世話に感動して、自身も県費留学生になれるよう学業を頑張り出しました。親の私も手を焼くことが少なくない息子を受け入れてくださった皆様には本当に感謝の言葉が尽きません。この素晴らしい事業を通じて、未来の県人会のリーダーが育つこと、また世界中に福岡の良さを知る人が増えること、そして、息子がその一人に慣れれば本望です。未来永劫続く福岡の繁栄と同じく変わらない福岡の人情深さを宝に、今後もどうか、海外に住む私たちの愛する故郷であり続けていただきたいと願います。関わってくださったすべての方々へお礼申し上げます。本当に有難うございました。

Cグループ



ハワイ福岡県人会

ハヤシ ニッコロ  
Hayashi Niccolo

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕が得た一つのことは他の人とコミュニケーションを取る方法です。福岡では、英語を話さないけんたろうとしげととサッカーをしたり、ウノで遊んだりしてコミュニケーションをとりました。次に得たことは、フレンドシップです。福岡では、ガブリエルと陽一に出会い、とてもうれしかったです。僕たちはとてもいい友達で、これからも連絡を取り合いたいと思っています。また、僕は伝統的な日本の作法を学びました。例えば、お茶のすずり方、座り方、感謝の表し方など。次に学んだことは、場所が違えば、やり方も違うということです。例えば、もし僕が日本でするようにお茶をすすると、アメリカでは行儀が悪いと思われれます。あるいは、僕が日本でゲップをすれば、シェフは光栄だと受け取りますが、アメリカでは、不快で失礼だと思われれます。また、福岡の美しさを学びました。お寺や、景観、おいしい食事のようなたくさん新しいことを発見しました。そして、那珂小学校に行って生徒たちとおしゃべりして、国のことを共有することで、日本についてもたくさん知ることができました。僕はこのプログラムで素晴らしい時間を過ごし、今年ハワイ福岡県人会代表として自分を選んでくれたことにとても感謝しています。

～親御さんからのメッセージ～

このプログラムで、ニコロはとても視野が広がって、中南米や福岡を深く理解するようになりました。また、福岡滞在中に出会ったお友達と関係を気づき、帰国後も連絡を取り合っているようです。また、帰国後書店に行くとき必ず日本語・スペイン語・ポルトガル語の語学書をめくったりしています。今やスペイン語とポルトガル語は、私より理解しています。彼は、自身の体験を弟や叔父叔母、祖母、クラスメートやサッカーのチームメイトに話しているようです。彼は日本のことをとても愛情を持って話をするようになりました。福岡への旅は驚くほどすばらしい体験だったと思います。彼はこのプログラムの体験や、お世話になった人々、アメリカの他の地域から参加した人々を忘れないと思います。息子にこの素晴らしいプログラムに参加させてくださって、本当に感謝いたします。

Cグループ



ハワイ福岡県人会

ステーブルズ コール  
Staples Cole

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕は福岡にいる間に、僕自身について三つのことを学んだように思います。以前に増して独立心、自信、そしてお爺ちゃんの故郷についてです。福岡では、知らない子供たちばかりなのに、不安にはなりません。福岡から帰ってから、自分のことは前よりもっと自分で出来るようになりました。福岡では、一日の用意、寝る準備、なくしたものを探したり、すべて自分でできたので誇りに思います。それからお金を無駄使いしないことも学びました。持っていたお金の半分をビデオゲームに使ってしまったので。お寺やお城について学んだことはとても興味深く、本当に好きです。お寺に参る前には、手と顔を洗って清めました。この旅行の後、僕はお爺ちゃんをもっと身近に感じるようになりました。この旅行のお陰で、これまでに見たこともないものを見たり、初めての体験したり出来て、本当に幸運だと思います。この旅行は、日本、福岡やそしてその文化を知るのに、役に立ちました。この旅行は、僕をより良い人間にしてくれた、と思います。僕のこれまでの一番良かった旅行の一つになりました。

～親御さんからのメッセージ～

短期招請制度に参加させて頂いたコールの親として、福岡県そしてこの事業に貢献してこれを実現させた皆様に本当に感謝をします。コールは日本について沢山学んだことは解りますが、一番驚かされたのは、とても成長したことです。背も高くなったような気さえます！暫く家族から離れていた後、弟に対しても辛抱つよく、思いやりが深くなりました。私たちは、コールがこのような素晴らしい機会を持てたことは、信じられないほど幸運だと思います。ありがとうございました。

Cグループ



ハワイ島福岡県人会

箱田 スコット  
Hakoda Scott

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕は、僕の家族の歴史や日本についてとてもたくさんを学びました。

親戚から祖父の祖父は忍者の名前を持っていたことを知りました。それから、僕は日本の子どもたちや他の国からの子供たちに出会い、それぞれの文化についても学びました。日本を知ることはとても興味深く、日本語で自己紹介を学べたことはよかったです。今回は親元を離れた初めての旅で最初は少し不安でしたが、みんな優しくすぐに友達になれました。世界中のいろんな国からの参加者との出会いでたくさんを知ることができ、ホームシックにはかかりませんでした。帰国後両親から成長したように見えると言われました。プログラムに参加したことで、新しいことにチャレンジすることに不安を感じなくなり、そこから新しいことがたくさん学べることがわかりました。参加の機会を与えていただきありがとうございます。これからも自身の文化や家族についてもっと学びたいと思っています。

～親御さんからのメッセージ～

はじめに、この素晴らしい体験にスコットを参加させていただき本当にありがとうございます。出発前には不安な様子でしたが、帰国後に感想をたずねたところ、とても楽しんだ様子で、全く問題なかったようです。帰国後、彼は少し成長したように見えます。たくさん新しいことにチャレンジすることにとっても驚き、それらができるようになったことに本人が喜んでいるようです。これまでたくさんの野菜が嫌いだったのですが、すべて食べられるようになったと言っていました。予想と違って、たくさん場所や人の写真を撮っていたことに本当に驚きました。ぜひ今後もこのすばらしいプログラムを続けてください。

Cグループ



コナ福岡県人会

おなか ジェード  
Onaka Jade

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私に一生に一度の機会を与えていただき、どうもありがとうございます。

私は価値観、歴史、文化など多くの多くのことを学びました。私は多くのものを学んだだけでなく、あらゆることに感謝するようになりました。

私が最初に学んだことは、日本人の価値観や信念でした。日本は、最新技術と伝統的な生活で知られています。人々の中には技術はとても便利だと感じ、家や車や、トイレがハイテクであることに価値を見出しますが、一方で、技術がすべてではなく、生活では伝統をととても大切にしているようです。また、私は福岡の歴史を学びました。宗教、休日、特別なイベントにまつわる歴史です。それから、とても感激したのは、文化です。そして、毎日ブラジル、アルゼンチン、コロンビアに関する新しいことを学びました。

～親御さんからのメッセージ～

娘が福岡を訪問する機会を与えてくださって本当にありがとうございます。

娘は福岡で経験したことを話してくれました。トヨタモーター工場や野外活動、お城見学、学校との交流など様々な経験をさせていただきました。娘は、グローバルアーリーナが大好きで、とてもきれいで楽しい場所だったと言っています。彼女のホストファミリーはとても素晴らしく、その子供たちやお友達と外泊するのをとても楽しんだようです。娘は帰国後、新しいことに感謝し、新しい人に会うことに心を開くようになりました。これは、福岡での経験を通して彼女は若者としてとしてとても成長し、福岡の方々や世界中からの他の移住者子弟との交流において、関わり方への理解を深めることができたと思っています。

Dグループ



パラグアイ福岡県人会

瀧脇 省吾  
Fuchiwaki Shogo

「プログラムで得たこと・学んだこと」

僕にとって、今までは日本という国を、テレビやインターネットでの情報だけで知っていましたが、このプログラムで実際に知ることが出来ました。日本では、学校の経験、遊び、生活、言葉、人間関係、僕の国とは全く違うという事を分かりました。町やテクノロジー、新幹線、僕の国には無い温泉の経験などを自分の体で感じる事が出来ました。そして僕と同じように、他の国にもたくさんの福岡県の移住者がいることを知り、たくさんのお友達を作ることが出来ました。これからももっと日本語を勉強して、将来また日本へ行きたいと思います。最後に福岡県の皆様、家族会の皆様、そして温かく迎えてくれましたホームステイの佐野様、本当にありがとうございます。

～親御さんからのメッセージ～

この度は、省吾がお世話になり、心から御礼申し上げます。帰国後、日本の素晴らしさに驚いていました。パラグアイは日本と比べれば一世紀遅れていると言っていました。納豆はパラグアイには有りますが、今までは口にすることがありませんでしたが、とても美味しかったようで、今では毎日食べています。この機会のお陰で少しは自立感が出てきたように感じます。そして日本語の大切さをわかって、今までは日本語があまり得意ではなかったのですが、少し興味が出てきています。将来又行きたいとも言っております。最後になりますが、本当にありがとうございました。

Dグループ



ペルー福岡クラブ

植山 古賀 ケンタロウ ファビアン  
Uyeyama Koga Kentaro Fabian

「プログラムで得たこと・学んだこと」

福岡と福岡の人はとても親切です。一番よかったことは新しい友達ができたと、その友達と色々な体験をしたことです。茶道体験がとても大変でした。正座に慣れてなくて、足がしびれて痛かったのですが、よかったです。トヨタ自動車の工場の見学はとても面白かったです。那珂小学校での交流も楽しかったです。ホームステイでは畳の上に布団で寝ることができたし、色々なところに連れて行ってくれて、ホームステイの家族はとても優しくしてくれて、とても嬉しかったです。このプログラムに参加してとてもよかったです。本当にどうもありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

ケンタロウはとても喜んでプログラムから帰ってきました。福岡で経験したこと、新しい友達ができたと、小学校の子たちと楽しく過ごしたことがとても印象に残っています。ケンタロウは学校で経験したことをうれしく話したりします。特に昼食の時間に生徒がみんな手伝ったり、昼食を配ったりしたことが印象に残っていて、今は家でも何も言わなくても自分から母の手伝いをしたりして、とてもうれしいです。ケンタロウは日本料理をあまり食べませんでしたが、プログラムで食べたものはとてもおいしかったそうですので、日本料理を食べるようになりました。ホームステイでは家族がとても親切に歓迎してくれて感謝しています。ケンタロウが行きたかったポケモンセンターまで連れて行ってくれました。ケンタロウがこのプログラムに参加してとてもよかったと思っています。福岡県国際交流センターの皆さん、感謝の気持ちでいっぱいです。

## Dグループ

	ペルー福岡クラブ	靱井 仲間 テツオ ガブリエル アロンソ Momiy Nakama Tetsuo Gabriel Alonso
---	----------	--

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムに参加して、忘れられない思い出になりました。友達もいっぱいできました。ホームステイもとてもよかったです。みんな親切でした。スペイン語で話したり、英語で話したり、日本語で話したり、期間が短すぎると思います。もっと友達といたかったです。色々なところを見学しましたが、時間をもう少し調整してほしいです。時々時間が足りなかった気がします。今、ペルーに戻り、日本のこと、福岡で見たこと、したこと、日本の文化や習慣を思い出し、作った新しい友達のこと、もう二度と会えないかもしれないと思うと福岡に帰りたくなります。このプログラムは 続けてほしいです。福岡出身の色々な国の子たちが一緒になって、一緒に遊んだり、祖父母の故郷福岡をもっともっと知り、もっと日本のことを知りたくなります。とてもいい経験でした。楽しかったです。忘れることのできない経験になりました。本当にどうもありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

ガブリエルはとても喜んで、帰ってきました。前よりおしゃべりになってびっくりしました。家ではあまりしゃべったりしませんでした。日本にもう一度行きたいと言っています。福岡で見たことがよかったです。日本語の勉強も続けたいと言いました。期間が短いと言っていました。こんなに長い期間一人で旅行するのが初めてでしたのでちょっと心配していましたが、こんなに喜んで帰ってきて、ちょっと成長したと思います。ガブリエルがこのプログラムに参加して本当に良かったと思います。このチャンスを与えてくれて感謝しています。ありがとうございました。

## Eグループ

	アルゼンチン福岡県人会	ドナヘイル クララ Donajger Clara
---	-------------	-----------------------------

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、福岡県、福岡県国際交流センター、アルゼンチン福岡県人会にとっても感謝しています。おかげで私は福岡を知ることができ、自身の祖先の出身を知ることができました。私はお寿司を作ったり、書道や茶道を楽しみ、特に小学校との交流はとてもよかったです。

私は、学校で生徒たちが自分で掃除をしていることに衝撃を受けました。なぜなら自分の国ではないことだからです。子供たちはとても愛らしく、私たちは浴衣を着せてもらい、けん玉の遊び方を教えてくれました。後から自分で一つ買って、アルゼンチンに持ち帰り、今は同級生と遊んでいます。また、街がとてもきれいで、道路を静かに運転していることも衝撃的でした。それから、様々な国からのプログラム参加者との経験を共有したり、日本文化がどのように私たちと関連しているかを発見することもとてもおもしろかったです。他にも、日本の技術に驚きました。特にロボスクエアや科学館に行ったときです。また、私は新しい食べ物を食べました。ホストファミリーは私をととても親切に受け入れてくれて、福岡タワーやビーチなど美しい場所に連れて行ってくれました。また名古屋に住む大叔母が私を訪ねてきてくれました。私は、日本でたくさんのことを学びました。例えば、尊敬、時間を守ることやいつもきれいにしていることなど。また、日本の方がはとてもフレンドリーで私たちを家族のように接してくれます。私はこの体験やプログラム参加者と過ごした貴重な時間を決してわすれません。

### ～親御さんからのメッセージ～

クララは福岡から元気に帰国しました。子弟招へい事業を知った時から彼女は日本を知ることとても興奮していました。彼女の変化がわかるには少し早すぎるかもしれませんが、プログラムでの体験から受けた影響を見せてくれています。彼女は日本語を継続的に勉強することとても興奮していて、友達にお土産を渡したり、日本での逸話を話すことをとても楽しんでます。彼女は、この経験を通してたくさん成長し、彼女の日本のルーツをより大好きになりました。私は、福岡県、交流センター、ホストファミリーやアルゼンチン県人会が娘に日本の文化を身近に感じる機会を与えてくださったことに深く感謝いたします。

Eグループ

	<p>メキシコ福岡県人会</p>	<p>林田 男 Hayashida Dan</p>
---	------------------	-------------------------------

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は日本人が、規律正しく、親切でフレンドリーであることを学びました。  
 私は楽しい時間を過ごしたし、多くのことを学んだので、私は日本に行くのが好きです。  
 私は日本の文化や習慣について学びました。私はそのようなコロンビア、米国、ブラジル、ペルー、パラグアイ、アルゼンチン、ボリビアなどの多くの国から友達になりました。私は彼らと楽しい時間を過ごしました。

～親御さんからのメッセージ～

ダン、日本とメキシコの間での生活の質の違いに気づきました。  
 ダンは、自分に自信を持って来ました。彼は前より独立し、ひとりで寝て、より穏やかになりました。  
 彼は日本の食べ物について、また彼らの祖先の多くを学ぶために戻りたいと考えています。彼は家族と共有するのが好きです。

Eグループ

	<p>メキシコ福岡県人会</p>	<p>林田 海 Hayashda Kai</p>
---	------------------	------------------------------

「プログラムで得たこと・学んだこと」


私は、日本が世界でとても素晴らしい国の一つだということを学びました。  
 日本はメキシコととても違って、争いがなく、素晴らしい食べ物や高度な技術があり、そして何より平和です。メキシコではたくさんのものがありますが、日本にはメキシコにないものがたくさんあります。  
 私は、日本でとてもいい買い物ができました。それは100円ショップで、そこはすべてが100円です。そして、私の大好きな場所は小倉城でした。小倉城では、私の名前入りのメダルを買いました。また、私は叔父たちの家を訪問し、素晴らしい時間を過ごしたので、また訪問したいと思っています。

～親御さんからのメッセージ～

カイはとても幸せそうに日本から帰国してきました。通りにお金をほしがる貧しい人々がないことにとても驚いていました。  
 彼は、日本ではみな生活に必要なものを持ち、盗む必要がないということを理解したようです。  
 彼は、また日本に戻り、彼の親戚を訪問したり、日本で勉強したいと思っています。



Fグループ

	<p>在ボリビア福岡県人会</p>	<p>八田 茂人 Hatta Shigueto</p>
---	-------------------	---------------------------------

「プログラムで得たこと・学んだこと」


ひいおじいちゃんのふるさと、福岡について、「本当に日本？」と自分で信じられなかった。いつか行きたいな、というのが僕の一つの夢でした。はじめの日は、みんな自己紹介をしました。パラグアイ、ペルー、ブラジル、コロンビア、メキシコ、カナダ、アメリカとボリビアの僕たちでした。色々なところに行きました。宗像大社へ行って、たくさん写真を撮りました。初めての神社見学でした。流しそうめんの体験はすごく楽しかったです。テレビでは見たことがあったけど、食べたのは初めてでした。みんなで一緒に作ったおにぎりも三角にできてうれしかったです。そうめんもおにぎりもとてもおいしかったです。北九州市のいのちのたび博物館へ行って、恐竜のことを色々見て写真をたくさん取りました。とてもおもしろかったです。那珂小学校では、けんだま、めんこ、だるまおとし、はねつき、色々教えてもらいました。すごく楽しかったです。そして、自分の国の紹介をしました。僕はボリビアから一人だったので、少しきんちょうしました。茶道の体験もありました。お茶はにがく感じました。太鼓をたたくれんしゅうもして、汗びっしょりになりました。とても楽しかったです。まがたまは、自分の好きな形に作りました。トヨタ車工場にも行って、僕は、大人になったらトヨタ車を買いたいと思いました。那珂小学校の友だちからおりがみや習字を教えてもらいました。ゆかたを着せてもらって、写真を撮りました。地震や台風の体験もさせてもらいました。消火器の使い方も教えてもらいました。週末は親せきの家にお世話になりました。みんなすごく優しく、ずっと前に会ったことがあるような気持でした。グリーンランド遊園地に行ったり、ボウリングにもつれて行ってもらいました。おいしい料理もたくさんいただきました。このチャンスを下さった、福岡県の皆さま、県人会の皆さん、日本の親せきの皆さん、僕の家族みんなに心からかんしゃします。ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

この度、福岡県の子弟招へいプログラムに参加した息子が帰国し、気づいた事があります。身の回りの事を何でも進んでするようになり、責任感が強くなった事、自分に対する自信もついた様です。

この機会を与えてくださった福岡県の皆様、県人会の皆様、ホームステイ先の親戚の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

Fグループ

	<p>コロンビア福岡県人会</p>	<p>田中 陽一 Tanaka Youichi</p>
---	-------------------	---------------------------------

「プログラムで得たこと・学んだこと」

ぼくは、日本に行くチャンスももらって、とてもうれしかったです。ありがとうございました。日本へ行って、ますます日本が好きになりました。日本人の礼儀正しさには、本当にびっくりしました。日本文化のすばらしさ、いろいろな習慣や伝統のすばらしさを見たり、聞いたりして、たいへん勉強になりました。日本で学んだことをコロンビアでもいかしていきたいと思います。他の国の日系の友だちとも知り合えることができとてもうれしかったです。今から、もっともっと日本語を勉強して、日本へ行き、日本のいいところをもっと学びたいと思います。

～親御さんからのメッセージ～

この度は大変お世話になりました。日本へ行く機会をいただき、本当に感謝しております。日本へ行ってからは、何でも積極的に自主的にするようになりました。自分から何でもすすんでするようになり、本当に短い期間でしたが、こんなにも変わってくれるとは思いませんでした。そして、とても礼儀正しくなりびっくりしています。また、日本に行きたいと日本語の勉強を頑張っております。本当に国際交流センターの方々をはじめ、福岡の方々に大変お世話になり、ありがとうございました。

# 参加者レポート 引率者

Aグループ



ブラジル福岡県人会

行徳 ミリア 小百合  
Guiotoku Miria Sayuri

子供たちにとっても引率者にとっても、とても奥深いプログラムだと思いました。引率者は日本に行ったことない人もいれば日本に慣れてる人もいました。日本の文化や生活にも慣れてない人もいれば、日本人みたいな人もいました。その違いの合間に国際交流センターが良いおもてなしをしてくれました。日本に行ってもおもてなしを大切にしていると感じました。

子供たちも最初は恥ずかしくて慣れなくて大変でしたけど、最後にはお風呂にも入ったし、日本人とも話せるようになってとても良いことだと思いました。あと、親と離れてる間に自分でいろいろできることが理解できるようになったことは一番、私的に、満足しています。慣れていないご飯も味見してくれし、日本でしかできない体験にも参加してくれてとてもうれしい気持ちです。

私が今回学んだことは、子供たちがもっと自分の家族の歴史や母国以外の親戚のことを知ることがとても大切だということです。この機会子供たちにもっと日本語を勉強して、県費留学生として、また福岡に戻ってほしいです。

Aグループ



トメアス福岡県人会

加藤 大行 アンドレ  
Kato Hiroyuki Andre

最初に、福岡県がこの素晴らしいプログラムを継続し、たくさんの子供たちに彼らの祖先のルーツを学ぶ素敵な機会を与えてくださって、本当に感謝しております。ここで体験したことは、単に新しい場所を訪れるだけでなく、日本食を味わい、言葉や文化に触れることで、彼らは物事の見方が変わることでしょう。おそらく、多くの子供たちは、写真や家族から聞く話、インターネットやテレビで福岡を知っているでしょう。この旅行では、日本の生活様式、例えば、インテリアや自動販売機など、実際触れることができます。参加者の多くは長旅で、時差による疲労は大変でしたが、家族会の温かい歓迎や心地よい雰囲気、新しい友達との出会いなどで、疲れがなくなりました。日曜日には、宗像で子どもたちと交流しました。子供たちは水鉄砲を作ったり、竹の筒を使って流しそうめんを食べたりしました。午後には、マダガスカル「クバーラ」というゲームをしました。とても楽しかったのですが、もう少し遊びたかったです。翌日、那珂小学校を訪問し、とても歓迎していただきました。私たちは各グループに分かれ、伝統的な日本の昔遊びをしました。その後、子どもたちは自分たちの出し物を発表しました。私たちは、子どもたちと昼食を食べ、とてもいい時間を過ごしました。そして、日本の子供たちがどのように一日を暮らしているかを知ることができました。午後には、太鼓や日本茶を体験し、最後には、学校で歓迎会をしてもらい、プレゼント交換をしました。また、お好み焼きを自分たちで焼いたり、手巻きやすし、刺身、てんぷらを食べたり、とてもおいしかったです。そして、100円ショップで、たくさんのが100円です。変えることに子ども大人もとても驚いていました。

また、いのちのたび博物館、お寺、小倉城などたくさん訪問しました。そして、福岡県副知事や議長にお会いすることもできました。ほんの少しの滞在の間に、たくさん経験とともに、たくさんの方々とお会いできたことは本当に忘れられない経験です。最後に、このプログラムの運営に携わってくださった方々に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

Bグループ



南加福岡県人会

金川 龍介  
Kanagawa Ryusuke

3年前県費留学生として経験したものと違う立場での経験だった為、責任感や緊張感もまた違うものでした。改めてこの事業の良さや、福岡のすばらしさを感じる事が出来てとても嬉しかったです。世界中の福岡県人会から参加していた子供たちの引率者の皆様に出会えた事、同じ時間を共有できた事がとても楽しかったです。今年の県費留学生たちも一生懸命頑張ってくれていたのもとても助かりました。僕にとって今回の旅はやはり色々な人達に出会えた事が良かったと思います。世界中に福岡県を通した繋がりができて僕はうれしい限りです。色々と違う言語や文化の違いを見て聞いて、とても楽しかったです。またスペイン語の勉強を頑張りたいなと思いました。僕が一番今回の旅を振り返ってみて良かったなと思えたことが、やはり子供たちを見ていたことだと思います。かなり大変ではありましたが、子供たちが色々な体験をしていく中、友達を作ったり新しい経験による感動を見つけたりしているのを見ていて、また僕もそういう感動やワクワクを見つけていきたいなと思いました。知らない日本の文化や礼儀などを習っていく事で、自分の視野を広げられていく子供たちが少しうらやましいとまで思えました。自分も小さいころは色々なものに興味を持って、色々やっていたような気がします。色々な人に迷惑もかけていたかもしれません。大人になってしまったのだなという実感が少しわきました。そういう気持ちになって、帰ってきてからは、また初心に戻って色々楽しく新しい挑戦をしていけたらいいなとも思えます。これからも福岡県と県人会に深いかかわりを持っていけたらいいなと思います。今回出会えた皆様にも、縁があればまた会えると思うので、今後ともよろしくお願いします。

Cグループ



ハワイ福岡県人会

ハヤシ ブランドン ジロー  
Hayashi Brandon Jiro

私は今回のプログラムで福岡を再認識することができました。そして、さらに大切なことは、自分の息子がさらに深く彼の祖先のルーツを学び、彼の自己がどのように形成されてきたかを知り、福岡や日本全体とのかかわりに意味を見出すことができると信じています。私は、当初引率者として四人のハワイからの子供たちが福岡で楽しく、安全に経験できることばかり考えておりましたが、終わるころには尊敬すべき方々にたくさんお会いでき、今後もつきあっていきたいと思っています。福岡からの移住者は、様々な国に行かれ、その多様な経験に大変感動しました。今回私は息子を地元の県人会に参加させただけでなく、自分自身ペルーのリマで来年10月に開催される会議に参加できることになりました。私は、アメリカにおける他の日本人の経験についてもっと学びたいし、その経験をハワイで共有したいと思っています。私は、早朝から夜遅くまで子どもたち、留学生、引率者それぞれのお世話をしていただき、心から感謝いたします。担当の永石さんがいなければ私たちはこんなに素晴らしい経験をする事はできなかったと思います。そして、彼女がハワイで過ごした時間はたくさんではないかもしれませんが、私たちに本当のアロハを見せてくれました。

## Dグループ



パラグアイ福岡県人会

橋本 リナ  
Hashimoto Lina

2016年度福岡国際交流センター担い手子弟育成事業にパラグアイから参加させてもらったのは、子弟の淵脇省吾君と引率者の橋本リナです。パラグアイから日本までは約地球半分の距離があります。歓迎会では、海外移住家族会の皆様に歓迎され、良い一時を過ごしました。宗像大社では、お寺参りを教えていただきました。宗像の青少年団体と交流キャンプでは竹で作った水鉄砲でみんなで遊びました。また流しソーメンでは、ソーメンの中にミニトマトとさくらんぼが投入されて、楽しくお箸でつかんでいました。いのちのたび博物館では、3万年前からの命が展示されています。素晴らしい世界誕生から現在に至る自然と生命の歴史！感動いたしました。北九州市の小倉城は、いかにも日本の歴史の中に入るような気分でお城を拝見しました。独特なお城の周りには池があり、昔なりに頑丈にできています。お茶・お花体験では、外国では日本式には座ったことがなく、笑いながら正座ができるように工夫しました。浴衣体験では、子供たちはかっこよく着ていました。習字体験では懸命に書いていました。地震被害防止の訓練所に行きました。台風体験では、メガネやヘルメットをかぶり被害防止のためいろんな工夫を教えていただきました。火の消し方は勉強になりました。特にパラグアイ国では地震がないのですごく印象的でした。おかげさまで、いろんな場所を見学することが出来感謝しております。知事はじめ県庁の皆様、福岡県国際交流センターの皆様、家族会の皆様には大変このたびはお世話になりました。スタッフの皆様には毎日朝早くから深夜までお付き合いしていただき、事故もなく無事にプログラムを終了することが出来、感謝の気持ちでいっぱいです。大変有難うございました。

## Dグループ



ペルー福岡クラブ

アギラル 大津 ロシオ スサナ  
Aguilar Otsu Rocio Susana

このプログラムに参加してとてもよかったと思っています。新しい友達ができ、みんなと一緒に色々な体験をして、楽しかったです。ホームステイでは日本の文化や日本の習慣を体験することができ、ホームステイの家族もペルーの歴史や遺跡、ペルーの習慣のことにも興味があつて、色々楽しいお話ができました。アメリカや南米でもたくさんの福岡県人会が活動していることを知って、驚きました。県人会の中で会員が参加しなくて、困っているとか、色々問題がありまして、このプログラムに参加してほかの国の県人会の問題も知ることができるからとても大切なプログラムだと思います。だからこのプログラムに参加することがとても大切だと思います。若いころから友達になって、将来福岡県人会同士のコミュニケーションがよくなると思います。参加者が日本の文化や習慣に触れ、各国に帰国してもっと日本のことを知りたくなり、日本語を勉強したりします。県人会で、福岡での楽しい経験を将来参加したい子にお話したりもできます。このプログラムの参加者も将来の県費留学生になる可能性が高いと思います。

## Eグループ



アルゼンチン福岡県人会

津留 アナ  
Tsuru Ana

この度、福岡県にお招きいただき、本当にありがとうございました。訪問前日などは、夜もねむれないほど、心配していましたが、日本に着けば、何もかも夢のような毎日で、アルゼンチンに帰って、初めて、日本での毎日を思い出しています。

日本のすばらしさ、美しさまた、皆様の心温まるおもてなし、本当にありがとうございました。

もし出来る事なら、日本の皆様も、私たちのタンゴの国、アルゼンチンにも来て南米の美しいところを見にきてください。私たちもできる限り協力させていただきます。本当にお世話になりました。

## Eグループ



メキシコ福岡県人会

フローレス ルナ マリア グアダルーペ  
Flores Luna Maria Guadalupe

平成28年度福岡県人会担い手育成招へい事業は素晴らしかったと思います。私はこの経験が人生の中で贈り物だと思います。今回の日本文化との出会いは、私が東京で勉強していた時より少し違うと思います。私は文化的なこと（習慣、食、歴史、技術）に触れました。私が食べた日本食はすべておいしかったです。私はまた、他国からの参加者や日本人の友人と友達になることができました。2つのホストファミリーは、私達の面倒を見て頂きまして、非常に親切でたくさん楽しませてくれました。タケシタツカサさんの家族が太宰府天満宮に連れて行ってくれました。この歴史的な場所は、日本の人々にとってとても重要です。天満宮神社には菅原道真の精神が奉納されており、それは天神様という、教育の神様で、学生の間でとても有名です。また、忍者村にも連れて行ってきて、すごく楽しかったです。

私は、日本が組織的で規律や責任のある国だと思いました。また、日本は地震が頻繁に発生する地域です。福岡県には市民防災センターがあり、様々な状況をシミュレーションで体験することができて、素晴らしい経験でした。また、教育課程を見せていただき、那珂小学校の子どもたちとの交流はおもしろい経験でした。国際交流センターのスタッフにサポートして頂いて、皆様は、親切だと思います。私は心から感謝しています。誠にありがとうございました。

F グループ



在ボリビア福岡県人会

川波 直美  
Kawanami Naomi

私は、福岡県人会のお陰で引率者として福岡に行くことができ、子供たちと一緒に貴重な体験と素晴らしい思い出を作ることができました。2年前は県費留学生としてこのプログラムに参加しましたが、引率者となると責任は重大です。グローバルアリーナで11日間皆さんと家族のように賑やかな毎日を過ごすことができました。小倉城に行ったり、茶道体験、小学校生活、太鼓や浴衣着付け体験、日本の文化にふれる行事が沢山ありました。子供達にとっては、何もかもが初めての体験だったので、色々な事に興味を示し、ウキウキとした表情を見せてくれました。その姿を見ることで自分も嬉しくなりました。子供達だけではなく引率者も一緒に参加できる行事もあったので、その体験を通して、私も文化を更に知ることができてとても良かったです。また、言葉は大事ですが、一番大切なのは言葉をどう相手に伝えるかだこの研修で思いました。スペイン語を話せる子もいれば、英語やポルトガル語を話せる子もいました。それぞれ言語が違います。日本語を話す子は数少なかったです。ですが言葉が通じなくても伝える方法を探し、仲良く遊んで楽しんでいました。時々言う事を聞かない時や、ケンカをする子もいましたが、15分もたたない間に仲直りして遊んでいました。ホームステイでは、県費留学生でお世話になった家族会の方や友達に会うことができ、とても嬉しかったです。地球の反対側に住んでいて会う機会が少ないですが、日本で出来た友達と交流を続けることができたのは交流センター、福岡県人会、ご支援頂いた関係者すべての方々のお陰です。今回のプログラムに参加させて頂き、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

F グループ



コロンビア福岡県人会

徳永 アンтониオ 明  
Tokunaga Antonio Akira

私は、このプログラムで素晴らしい経験と、思い出と、友人を得ることができました。最初に、私にとって10歳の子どもと一緒に旅をすることは大変素晴らしい経験で、私の両親が私に大切に伝えてきたように、彼も両親から価値観をもって育てられてきたことがわかりました。祖父母から受け継いだ価値観は、他の参加者だけでなく、この旅で出会った日本人からも得ることができました。世代が進むにつれ、その価値観は失われつつありますが、この旅では、それらが最も大切な遺産であることを再認識することができました。世界中の日系人と知り合い、一緒に過ごして、彼らとの経験はとても興味深かったです。

宗像小学校の生徒たちはとてもたくましく、子どもたちは日本語や英語を使って、お互いのことを理解し、友達になっていました。子供たちは、昔遊び、踊りや食べ物やスポーツを知ることができました。

とてもおいしい日本の食べ物について、私たちは食べるだけでなく、どのように作るかも知ることができました。小倉城や高塔山や宗像大社から、私たちは日本文化の本質を学びました。これらの歴史にふれたことによって、言葉では言い表すことができないような平和や静寂をこの場所で経験することができました。これらは私たちの国にはありません。

博物館やトヨタ自動車工場や鳥類センターでは、人間、日本人そして現代生活における考え方の違いを知ることができた。最後に、この経験で私はたくさんの歴史や祖父母やその家族の出身である福岡県の姿を理解することができました。また、私は家族から教わった価値観や故郷や友人が持っているものとは違った価値観を持ちました。そのことで、私もルーツについて学ぶエネルギーがわいてきて、日本をもっと学びたい、県人会活動にもっと関わりたい、また彼らの歴史について調べたり話したりしたいと思うようになりました。

参加者レポート  
福岡県移住者子弟留学生



Aグループ



ブラジル福岡県人会

浅野 レナン ゆうじ  
Asano Renan Yuji

2016年の12日間の子弟招へい事業は良い勉強だったと思います。主に学んだことは：

- 1- 色々な国からの方とともにスタッフとして勤めることです。多文化事業の色々なコミュニケーションの挑戦から学びました。それに、南米人とアメリカ人に共通のサッカーの興味を見つけました。サッカーをしてからは、簡単に仲間になりました。
- 2- 初めて、国際交流センターと一緒にスタッフとして勤めました。日本式のイベントの行いかたを見たり、一緒に実現したり、評価したりしました。
- 3- 特に、小中学校を訪ねることは素晴らしい経験だと思います。小学校の設備や掃除の活動や調理の活動や小学生の交流はすごく面白いと思います。それに、小学校の先生と事務所員と学生は優しくてやる気も多かったと感じました。
- 4- 子育ての勉強になる機会でした。最初は私のチームの子供との関係にたくさん困難があったが、最後には温かい友情を持つようになりました。今では、Facebookで子供と話しています。
- 5- 福岡文化を学びました。特に宗像大社やいのちのたび博物館や小倉城の見学とお守りを作る活動の説明には面白い歴史と情報をわかりました。
- 6- 初めてすき焼きとお好み焼を作る経験でした。それに、太鼓を弾くことと、けん玉をはじめとして、いろいろな子供の遊びもしました。

Bグループ



ブラジル福岡県人会

池尻 直美 カレン  
Ikejiri Naomi Karen

プログラムの間に 私は多くの外国人に会う機会がありました。それぞれの国の文化のいくつかを知るようになりました。子供たちと一緒に、さまざまな活動を体験することができたので、多くの友人を作ることができました。私は自分のルーツや祖先の起源を知ることの重要性を教える必要があると思います。彼らと日本の子どもたちの間で友達になるのを見ることは素晴らしいと思います。このように、日本およびその他の国の友好と伝統を維持することが可能で、期間は短いけれど、友達を作るには十分でした。私は多くの思い出を作ることができました。

Cグループ



パラグアイ福岡県人会

清水 サラ 愛実  
Shimizu Sarah Narumi

私は、この事業が始まる前に、いくつかの悩み事がありました。色々な国から来た子供の面倒を見て、その子たちと言葉が伝わらないとどうしたらいいのか、ホームシックになったら何を言ったらいいのかを考えていました。先輩方の意見を聞いてみると、この子弟招へい事業で、県費留学生は大きな責任を持つことは持つけど、子供たちとすごく楽しい時を過ごせるし、留学生相手の関係も強くできると安心させてくれました。結局、私の最初の悩み事は難しく考えすぎなことでした。

私が参加したDグループでは英語しかできないハワイの子供たちのグループでした。小さいころから英語を習ってきた私にとって、その言語を日本で練習する機会があつてとてもよかったです。通訳や注意する時にちゃんと聞いて分かってくれて本当に嬉しかったです。子供たちにとって最初、日本語での自己紹介は非常に難しいことでしたが、2、3日がんばって練習して大分上手になってスムーズにできてきました。

そして、ハワイの独特なダンス、局や言葉などを教えてくれたのも嬉しいことです。留学生として、日本での留学制度は大学の勉強だけでなく、こういう交流も貴重な体験に含まれていると思います。

9カ国19名の子供たちは、文化や言葉の違いがあつても、明るさや純粋さで楽しく一緒に遊んで、その姿に感動しました。毎日楽しすぎてホームシックになる時間もなかったと思います。福岡県の歴史をもっと深く学ぶことができ、美術館や博物館の見学に参加し、私たち福岡県移住者子弟留学生は本当に恵まれていると思います。とても楽しみにしていたこの子弟招へい事業のプログラムは、海外福岡県人会と家族会の方のお陰で無事に終わりました。

今回出会った子供たちがそれぞれの国でこれからも勉強をがんばって、また日本へ戻って来ることができるように願っています。

Dグループ



パラグアイ福岡クラブ

山崎 亜希  
Yamazaki Aki

「いただきます・ごちそうさま♪」1日の始終を告げる、聞き慣れた元気な声、蒸し暑さまで吹き飛ばしそうなパワフルな移住者子弟招へいの子供達、時差で眠たいという素振りも見せずに、あっという間に友達になっていました。この事業は、素晴らしく魅力的なプログラムだと思います。なぜなら9カ国それぞれ共通のルーツ「福岡」を知るための最大のチャンスだからです。また日本の小学生との交流を通してとても貴重な経験を得ることができます。一生懸命会話をするため、ジェスチャーや身振り手振りなどをして、言葉の壁を越え、様々なゲームを共に楽しみ、伝統的文化を体験することが出来るからです。そんな子供たちを見守るだけで心が和みます。そして最大の目的、ここを好きになってもらうという想いは、しっかりと伝わっていました。「将来、お姉ちゃん達のように県費留学生として、もっと日本語の勉強をして絶対に行きたい」と言われ、まさか待ち望んでいなかった事だったので、本当に嬉しかったです。今回のプログラムを通してたくさんのお話を学びました。私たち、日系人として日本語を話せると言う大切さ。その事をよりたくさんの人に気づいていただくために、これからも是非、この事業を続けてもらいたいと思います。

## Dグループ



ペルー福岡クラブ

松藤 福田 カルロス アウグスト  
**Matsufuji Fukuda Carlos Augusto**

子弟招へい事業はいいいけいけんでした。私はいろいろな国からの人と会って、友達になりました。日本文化を学びました。博物館に行ったり、太鼓を叩いたり、手巻きを作ったりしました。子供たちはアメリカ、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、コロンビア、メキシコ、パラグアイ、ペルーからきました。すぐに友達になりました、でも日本の子供たちよりも子弟招へい事業に参加していた子供たちと友達になれることができたとおもいます。なか小学校で文化のちがいにきづきました、でも小学校で子供たちは一番日本文化を学びました。日本の子供たちも、私たちの国の文化にきょうみがありました。もう少し自由にあそぶ時間があつたらよかったとおもいます。子供たちは日本にくるまえに子弟招へい事業の目的を知っていることが大切とおもいます。

## Eグループ



ブラジル福岡県人会

中村 クリスチアネ 小百合  
**Nakamura Cristiane Sayuri**

三年前にブラジルの引率者として、そして今回は留学生として、二回も子弟招へい事業に参加することはとても貴重な機会だと思います。三年前もそうでしたが、今回も最後の日のミーティングで他国の引率者の感想を聞いて、どの国でも元の引率者のサポートがないと気づきました。事業の目的や内容、自分の責任について、日本に来る前までは、よくわかっていなかった方が何人もいたそうです。このサポートはとても重要だと思います。私達引率者、留学生、参加した児童が、これからもそれぞれの県人会で自分の経験を紹介して、このプログラムの目的を伝えたら、将来子弟招へい事業に参加する方達にも助かると思いました。私達はこの二週間のプログラムで、福岡県の色々な所へ行くことが出来てとても楽しかったですが、「これはやりたくない」、「これはつまらない」、「これは嫌い」と時々誰かが言う事を聞いて、私は少し悲しくなった時もありました。どうしてこんな素晴らしい機会を与えられて、そんなことを言うかな、現在の子供たちはわがままになっているかなと考えたりしていました。ブラジルには毎年このプログラムに参加したい子がたくさんいて、全員連れて来れないので、何人かは残念ながら参加することが出来ません。参加者に来ることは光栄なことだと伝えるのは私達の責任ではないかと考え始めました。ただの観光旅行ではなく、自分のルーツの日本の文化を学ぶ機会ですから、できるだけスケジュールの活動に精一杯参加して、自分が慣れていない習慣、マナー、味、言語にも頑張ってチャレンジしたら、たくさんの新しいことを習って、いい勉強になると思うので、大人もその方へ子供たちを励ましたらいいと考えます。最近私達の国で日本語を話せる人がだんだん減っていますが、簡単な挨拶や言葉を子供たちに来る前に少し練習をさせたら、日本人の児童やホストファミリーとの交流ももっとうまくいくと思います。今回、私に最も勉強になったのは、母国に帰ってからの参加者の協力の大切さを理解することです。個人的には、通訳の練習ができて、スペイン語をもっとはなせるようになって、人間関係について勉強になって、たくさんの友達を作って、とても楽しかったです。この事業を通して、参加者は日本の文化をもっと知り、他国の子供たちと交流を深め、自分の先祖の地元について調べることができ、自分や世界についての視野を広げることができると思います。自分のルーツである、福岡を知る機会である、子弟招へい事業は私達海外県人会と福岡をつなぐとても素晴らしいプログラムです。これからも続いていく事を希望して、私もできるだけ頑張りたいと思います。

## Fグループ



在ボリビア福岡県人会

八田 生香  
Hatta Seika

以前、私は引率者としてこの事業に参加し、始めて日本を訪れました。12日間の滞在という短い日々を過ごしているうちに、自分が日本人であること、そのアイデンティティーをもっていることに気づかされました。滞っていた気持ちが晴れていくようでした。まるで答えあわせをしているかのように。子弟招へい事業は私にルーツを教えてくださいました。それから三年が経ち、再びこのプログラムに出会い、視点を変えて県費留学生としてサポートにつきました。『あれれ、こんなに忙しくて楽しかったかな??』疲れ知らずの子供の相手をしながら、体力が消耗されていくのを感じていました。本当に楽しい時間はあっという間で、せみの鳴き声よりうるさかったバス移動さえ懐かしく想えます。共通点はルーツだけの子供たちが様々な国から福岡で出会い、友達になって、なれた頃に帰って行く。一期一会の意味を身をもって知りました。暑さに負けず、それぞれ楽しめたことが『また来たい』という気持ちに繋がって、県費留学生として福岡を再び訪れる事を願っています。私のように、現地で生きながら違和感を感じているのであれば、是非参加してみてください。トンと背中を押してくれる。そんな素晴らしいプログラムです。

# 福岡県出身の移住者やその子弟等で 構成される海外の県人会について

## ■福岡県の海外移住

### (1) 海外移住の始まり

明治18年(1885年)のハワイ移住により始まり、132年を経過

### (2) 海外移住者総数(自由移民を含まず)

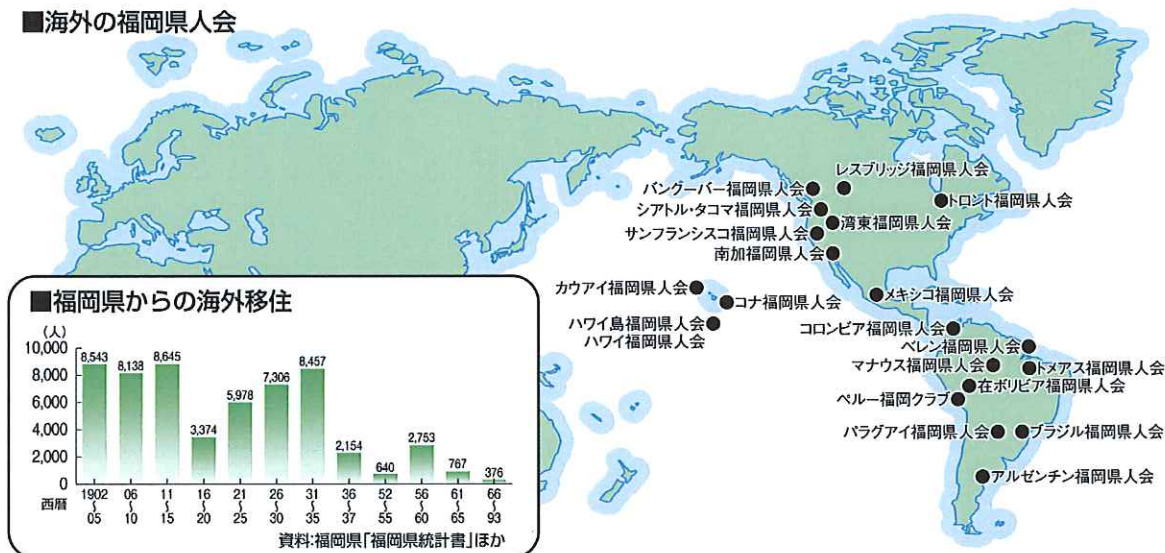
戦前(明治32年から昭和16年) 51,240人(全国比7.8%)

戦後(昭和27年度から平成5年度) 4,536人(全国比6.2%)

※戦前・戦後計 55,776人(全国第4位)

第1位	広島	98,975人
第2位	沖縄	79,454人
第3位	熊本	72,699人
第4位	福岡	55,776人
第5位	山口	47,430人

## ■海外の福岡県人会



アルゼンチン	アルゼンチン福岡県人会	カナダ	トロント福岡県人会	アメリカ(ハワイ)	ハワイ島福岡県人会
ボリビア	在ボリビア福岡県人会	カナダ	バンクーバー福岡県人会	アメリカ(ハワイ)	カウアイ福岡県人会
ブラジル	ベレン福岡県人会	コロンビア	コロンビア福岡県人会	アメリカ(ハワイ)	コナ福岡県人会
ブラジル	ブラジル福岡県人会	メキシコ	メキシコ福岡県人会	アメリカ(本土)	南加福岡県人会
ブラジル	マナウス福岡県人会	パラグアイ	パラグアイ福岡県人会	アメリカ(本土)	サンフランシスコ福岡県人会
ブラジル	トメアス福岡県人会	ペルー	ペルー福岡クラブ	アメリカ(本土)	シアトル・タコマ福岡県人会
カナダ	レスブリッジ福岡県人会	アメリカ(ハワイ)	ハワイ福岡県人会	アメリカ(本土)	湾東福岡県人会

海外県人会 9ヶ国21県人会

## 県人会担い手育成招へい事業 実施要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、海外県人会人材育成・活用推進事業実行委員会規約第3条第1号に掲げる県人会担い手育成招へい事業の実施に関し、必要な事項を定める。

### (目的)

第2条 この事業は、移住者及びその子孫からなる海外福岡県人会(以下「県人会」という。)会員の子弟及び青年リーダーを本県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図ることを目的とする。

### (事業内容)

第3条 前条の目的を達成するため、次の活動を基本とする事業を実施する。

- (1) 同年代の子どもたちとの交流
- (2) 福岡の魅力に触れる
- (3) ルーツを探る
- (4) 日本文化の体験

### (招へいする子弟の条件)

第4条 子弟は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

- (1) 招へい事業の目的を理解していること
- (2) 海外福岡県人会会員の子弟であること
- (3) 年齢は招へい期間中に原則満11歳であること
- (4) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること
- (5) 心身共に健康であること
- (6) 日常の身の回りのことが一人で行えること
- (7) 自国の文化や社会、生活様式について紹介ができること
- (8) 募集要項に定める注意事項を遵守できること
- (9) 以前に当プログラムに参加したことのない子弟であること

### (青年リーダーの参加条件)

第5条 招へいする子弟は青年リーダーが帯同するものとする。

2 青年リーダーは次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

- (1) 招へい事業の目的をよく理解していること
- (2) 招へい期間を通じて子弟の指導や援助ができること
- (3) 海外福岡県人会の会員であること
- (4) 招へいする子弟の原則祖父母、父母、兄、姉、伯父(叔父)、伯母(叔母)ではないこと
- (5) 年齢は招へい期間中に原則20歳以上50歳未満であること
- (6) 日本語でコミュニケーションがとれ、子弟とホストファミリーその他の関係者との間の通訳ができること
- (7) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること
- (8) 事業終了後、海外福岡県人会活動に積極的に参加すること
- (9) 以前に当プログラムに参加したことのない引率者であること

### (申請書の提出)

第6条 招へい事業の参加希望者は、県人会担い手育成招へい事業参加申請書(様式第1号)もしくは引率申請書(様式第2号)に親権者の承諾書(様式第3号)を添え(親権者の承諾書の添付は子弟の場合のみ必要)、海外県人会長(以下「県人会長」という。)に提出しなければならない。

2 県人会長は、前項の申請者の提出があったときは、推薦書(様式第4号)を添えて、実行委員長(以下「委員長」という。)に提出するものとする。

### (選考及び招へい者の決定)

第7条 部会長は、招へい者を決定するため、部会の中に県人会招へい者等選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置する。

2 部会長は、選考委員会の選考結果を受け、部会で招へい候補者を決定し、委員長に報告する。

3 委員長は、部会長の報告を受け、実行委員会で招へい者を決定する。

4 委員長は、招へい者を決定した場合、すみやかに招へい者に対し、県人会長を通じて、招へい事業参加決定通知書(様式第5号)を交付する。

### (選考委員会)

第8条 前条の選考委員会の委員は、福岡県企画・地域振興部国際局国際政策課長と公益財団法人福岡県国際交流センター事務局長とする。

2 選考委員会は部会長が開催する。

### (経費)

第9条 招へい者の往復の航空運賃及び福岡での滞在に係る経費については、実行委員会が負担する。

### (その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、事業の実施に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

### 附則

この要綱は、平成26年4月30日より施行する。

### 附則

この要綱は、平成28年5月11日より施行する。



2016.7.8~ 19

Short Term Visit Program for  
Young Descendants of Immigrants  
from Fukuoka Prefecture